

第 21 回食の安全・安心懇談会の実施について(報告)

令和6年11月28日(木)、中野区産業振興センター地下1階 多目的ホールで「第21回食の安全・安心懇談会 災害時の食品衛生について～実体験から学ぶ避難所の衛生実態と対策～」を開催しました。



(写真1:講師の山田恵子先生)

今回は、社会福祉法人 横浜市社会事業協会 横浜市多機能型拠点こまちの山田恵子先生より災害時の食品衛生についてご講演いただきました。

講演では、先生自身が被災地に派遣されて活動した経験を基に炊き出しや食料物資、トイレ等の避難所生活の実情をご説明いただきました。また、過去のデータから災害によるライフラインの復旧までの期間を示し、その期間を乗り越えるために備えるべき物資や、普段からおこなっておくべきことをご説明いただきました。特に、普段から食べたくない非常食は災害時になるとより一層食べたくなくなるため、普段から非常食を食べ慣れておくことが大事であるご説明いただきました。また、災害時はアレルギー配慮支援物資が手に入るまでに時間がかかることから、食物アレルギーを持っている方、特に子供の食事について、日頃から備えておくべきことをご説明いただきました。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、対面で行う意見交換会は行わず、基調講演のみという形式で実施してきました。今年度は講演後、参加者の方々に配布した付箋にて講演の感想や疑問点を書き出していただき、それをもとに講師の先生に総括していただくという、新しい形式でリスクコミュニケーションを行いました。

講演参加者の感想(一部抜粋)

- ・災害に備え日頃から準備をしてあるつもりだったが、再度点検することがたくさんあり、大変参考になりました。
- ・食事のことだけでなく、トイレやごみのことなど、全体的な対策を知ることができ、とても勉強になりました。なぜその物品が必要なのかという理由まで知ることができ、分かりやすかったです。
- ・今まで知りえなかった避難所の情報がとても勉強になりました。避難していても日常生活をするので日々の水、熱量などが必要ということを実践的に考えることができました。

・災害現場にいたからこそその貴重な話の数々でした。断片的にしか知らなかった防災知識の不足点を補ってもらいました。

・休憩時間がやや長めではあったが、参加者の質問や意見を丁寧に拾っていて、参加してよかったと思う。

中野区保健所 生活衛生課 食品衛生係

〒164-0001 中野区中野 2-17-4

TEL:03-3382-6664 FAX:03-3382-6667

E-mail:seikatueisei@city.tokyo-nakano.lg.jp